福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：57

トイレ用の手すりがズレて、転倒しそうになる

場面の説明

立ち上がる際に手すり部を頻繁に握ることから、固定部がゆるんできていた



利用シーン	立ち座り 排泄
主な利用場所	トイレ
介護保険の種目	手すり
分類コード(CCTA95)	091224 (トイレ用簡易手すり（背もたれ付きを含む．）)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

ねじなどによる固定をせずに設置できる手すりは気軽に導入できるメリットがありますが、製品により設置方法は様々で固定できる便器の形状やトイレの広さ、壁面の強度などに制約があります。環境に適合する適切な製品を選定し、正しく設置することや定期的なねじのゆるみなどの確認がとても重要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：ガタツキに気づいていたが、この程度なら問題ないと思ってしまった
モノ：環境に適合しない製品だった
管理：定期的な確認を怠っていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.